



二之江の子



令和 8 年 9 月 1 日
江戸川区立二之江小学校
第 5 号

疑問に思うことの大切さ —充実した 2 学期にするために—

校長 大石 吉郎

街路樹のサルスベリの花は、この暑さをパワーにしているように見事に咲き続けています。今年から最高気温が40度以上の日を新たに「酷暑日」とされ、この夏も各地で酷暑日が観測されました。また、ゲリラ雷雨の発生回数も昨年度比べて発生率高くなっているようです。

この夏は7月の熊本地震、8月に起きた千葉豪雨、そして各地で発生したゲリラ豪雨での災害等で、被災されたすべての方々に心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早く復興されることを祈念しております。



さて、7月25日（土）に開催された古川まつりには、本校の金管バンドが地域の一員として参加させていただきました。今年は部員数も45名と多く、ステージが狭く感じられましたが、オープニングにふさわしい、すてきな演奏を披露してくれました。子供たちにとって夏の大切な思い出となりました。

夏休み期間中も、保護者の皆様、地域の皆様方に子供たちを見守っていただきました。お陰様で、大きな事故や怪我等もなく始業式を迎えることができ、子供たちの元気な笑顔が学校に戻ってきました。心より感謝申し上げます。

夏休みが過ぎ、子供たちの元気な声が学校に戻りました。様々な経験を通して、一回り大きくなった子供たちと会うことでうれしいです。残暑も続いていきますので、学校生活リズムを取り戻し、健康で過ごすためにも、「早寝・早起き・朝ごはん」の励行、体調管理、熱中症予防のご協力をお願いいたします。学校においては、子供たちが充実した学校生活を送れるように努めてまいります。2学期も音楽会や各学年での行事等も予定されていますので、1学期以上に、一つ一つの行事に対して、目当てをもって臨んでほしいと思います。そして、目当てをもって「できた」ことを積み重ねながら「やる気」を生み出し、自信につなげながら充実した2学期を過ごしてほしいです。

そのためにも、始業式では次のことを、話しました。

生活している中で『疑問に思うこと』や『分からないこと』がありますか。疑問に思うことや分からないことがある時に、皆さんはどうしますか。もし、疑問に思ったことを自分で考えたり、調べたり、人に質問したりすれば、私たちは新しいことを知ることができます。でも、疑問に思ったり、分からなかったりしたことを分からないままにしていると、いつまでも疑問は解決しません。疑問に思うことや分からないことは、皆さんにとって成長のための種のようなものです。

その種に水をやったり、肥料を与えたりすることにより、皆さんはどんどん成長していきます。学校はそのようなことをみんなで考えたり、教え合ったりできるすてきな場所です。

アルベルト・アインシュタインは次のような言葉を残しています。

『昨日から学び、今日のために生き、明日に希望を持て。大切なのは、疑問を持つことをやめないことだ。』

“Learn from yesterday, live for today, hope for tomorrow. The important thing is not stop questioning.” これからも疑問に思ったり、人に質問したりすることをはずかしがらずに、どんどん人に質問したり、調べたりしてほしいと思います

今学期も保護者の皆様、地域の皆様のご理解ご協力を引き続き、よろしくお願い申し上げます。